



令和元年5月14日

各位

会社名 日本アンテナ株式会社
代表者名 代表取締役社長 瀧澤 功一
(東証JASDAQスタンダード・コード番号: 6930)
問合せ先 専務取締役管理本部長 清水 重三
TEL 03-3893-5221

平成31年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成31年3月期の連結及び個別決算において、平成31年2月1日に公表いたしました業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異

(1) 平成31年3月期連結業績予想値と実績値との差異 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	16,400	750	650	550	47.36
実績値 (B)	16,692	1,135	1,054	1,090	93.86
増減額 (B-A)	292	385	404	540	—
増減率 (%)	1.8	51.3	62.3	98.2	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	14,356	144	155	192	15.37

(2) 平成31年3月期個別業績予想値と実績値との差異 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	15,800	700	600	500	43.05
実績値 (B)	16,121	1,068	1,007	1,032	88.94
増減額 (B-A)	321	368	407	532	—
増減率 (%)	2.0	52.6	67.9	106.6	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	13,948	122	137	174	13.93

2. 業績予想との差異の理由

平成31年3月期の連結業績につきまして、平成31年2月に公表いたしました前回予想と比較いたしますと、まず放送関連機器に関しては、「新4K8K衛星放送」の開始に伴って積極的な拡販を行った結果、家庭用TVアンテナ及び関連機器の販売が伸びました。

通信用アンテナにつきましても、民需向け、官需向けとも、前回予想を上回る水準にて推移しました。

関連工事につきましては、ビル内共聴改修工事が伸びた他、減少傾向であった電気工事やアンテナ対策工事も回復基調となりました。

利益面につきましては、工事業において収益性の高い案件の売上計上があったことや、継続的なコストダウンを重ねたこと等に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回りました。

なお、個別業績につきましても、上記と同様の理由により、売上、利益とも、前回予想を上回りました。

配当予想につきましては、一株当たり21円の予想を据え置いております。

以上